平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	インターンシップB (Internship B)			授業コード	M006601
担当教員名	廣田　篤彦			科目ナンバリングコード	R20302
配当学年	1	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	建築士試験の、大学院における実務経験認定に係るインターンシップ科目です。 建築学科を卒業した者のみを対象とします。 実習開始後に履修を中止することはできません。				
受講心得	規定時間の実務及びレポートの作成を必須とします。 実習先の指示に従うこと。 無断で遅刻欠席をしないこと。 身だしなみや言葉遣いに留意すること。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	なし				
関連科目	インターンシップA, C, D				

授業の目的	建築家・建築技術者として建築設計を行うにあたって、建築物の設計又は工事監理に係わる実践的な能力を培う。 建築構造設計に係わる業務の学習を主たる課題とする。
授業の概要	実習先は、構造設計事務所または工務店・ゼネコン等の構造設計部門とし、インターンシップAでの体験と比して、意匠設計と構造設計の業務の違いを理解する。 指導は現場で実務に携わる建築士が行う。 Ⅰ　建築構造設計業務の学習 Ⅱ　建築構造設計の計画実務に関する学習 Ⅲ　建築構造設計の実務に関する学習 Ⅳ　建築構造の現場監理業務の学習

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : 建築構造設計業務の学習 (第1日目～第5日目　:8時間/日) 1. 構造設計・意匠設計・設備設計の関係と構造設計業務の学習 2. 構造設計者の監理業務のあり方の学習	
第 2 週 : 建築構造設計業務の学習 (第1日目～第5日目　:8時間/日) 1. 構造設計・意匠設計・設備設計の関係と構造設計業務の学習 2. 構造設計者の監理業務のあり方の学習	
第 3 週 : 建築構造設計業務の学習 (第1日目～第5日目　:8時間/日) 1. 構造設計・意匠設計・設備設計の関係と構造設計業務の学習 2. 構造設計者の監理業務のあり方の学習	

第 4 週： 建築構造設計業務の学習 （第1日目～第5日目　:8時間/日） 1. 構造設計・意匠設計・設備設計の関係と構造設計業務の学習 2. 構造設計者の監理業務のあり方の学習	
第 5 週： 建築構造設計の計画実務に関する学習 （第6日目～第10日目　:8時間/日） 1. 構造計画に対応した意匠設計・設備設計の考え方の学習 2. 構造設計の法的根拠の学習	
第 6 週： 建築構造設計の計画実務に関する学習 （第6日目～第10日目　:8時間/日） 1. 構造計画に対応した意匠設計・設備設計の考え方の学習 2. 構造設計の法的根拠の学習	
第 7 週： 建築構造設計の計画実務に関する学習 （第6日目～第10日目　:8時間/日） 1. 構造計画に対応した意匠設計・設備設計の考え方の学習 2. 構造設計の法的根拠の学習	
第 8 週： 建築構造設計の計画実務に関する学習 （第6日目～第10日目　:8時間/日） 1. 構造計画に対応した意匠設計・設備設計の考え方の学習 2. 構造設計の法的根拠の学習	
第 9 週： 建築構造設計の実務に関する学習 （第11日目～第15日目　:8時間/日） 1. 構造計算の実践的学習 2. 構造図作成の学習	
第10週： 建築構造設計の実務に関する学習 （第11日目～第15日目　:8時間/日） 1. 構造計算の実践的学習 2. 構造図作成の学習	
第11週： 建築構造設計の実務に関する学習 （第11日目～第15日目　:8時間/日） 1. 構造計算の実践的学習 2. 構造図作成の学習	
第12週： 建築構造設計の実務に関する学習 （第11日目～第15日目　:8時間/日） 1. 構造計算の実践的学習 2. 構造図作成の学習	
第13週： 建築構造の現場監理業務の学習 （第16日目～第20日目　:8時間/日） 1. 工事現場の工程会議に参席し、施工管理と設計・工事監理の業務内容を学習する。 2. 設計者として、現場における工事監理業務を学習する。	

第14週： 建築構造の現場監理業務の学習 （第16日目～第20日目　:8時間/日） 1. 工事現場の工程会議に参席し、施工管理と設計・工事監理の業務内容を学習する。 2. 設計者として、現場における工事監理業務を学習する。	
第15週： 建築構造の現場監理業務の学習 （第16日目～第20日目　:8時間/日） 1. 工事現場の工程会議に参席し、施工管理と設計・工事監理の業務内容を学習する。 2. 設計者として、現場における工事監理業務を学習する。	
第16週： 建築構造の現場監理業務の学習 （第16日目～第20日目　:8時間/日） 1. 工事現場の工程会議に参席し、施工管理と設計・工事監理の業務内容を学習する。 2. 設計者として、現場における工事監理業務を学習する。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①社会で働くことの意味を理解し当事者意識をもつことができるようになる。 ②自分の目指す業界や職種を肌で感じてモチベーションを高める。
【知識・理解】	日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただくことにより、社会で働くために必要となる能力や知識、技術などを確認する。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	インターンシップを通して感じたこと、経験したことを踏まえ、自分が将来どうあるべきか、そのためにはどうするべきかを考える。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		25点		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		25点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		25点		

【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		25点	

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	
発表・その他 （無形成果）	